

平成28年度 事業報告書

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

1 会員数の状況

区分	平成28年度 当初会員数	加入	退会	年度末会員数
団体会員	63	0	1	62
会社会員	53	7	2	58
計	116	7	3	120

2 総会・理事会・監事監査の実施

(1) 総会

第37回通常総会 開催日：平成28年5月25日（水）
場 所：福井県国際交流会館 第3会議室

(2) 理事会

第76回理事会 第37回通常総会と同時開催
第77回理事会 開催日：平成29年3月23日（木）
場 所：福井県国際交流会館 第3会議室

(3) 監事監査

実施日：平成28年5月17日（火）
場 所：福井県職員会館ビル 202会議室

3 事業の実施状況

(1) 職業訓練振興事業

ア 職業訓練指導員（48時間）講習の実施

開催日：平成29年2月14日（火）、15日（水）、16日（木）、
" 21日（火）、22日（水）、23日（木）
場 所：福井県立福井産業技術専門学院
修了者数：10名

イ 認定職業訓練指導員研修

開催日：平成29年2月2日（木）
場 所：サカセ化学工業株式会社 プレゼンテーションルーム
参加者数：4団体 13名

ウ 職業能力開発推進者経験交流プラザ

開催日：平成28年10月27日（木）
場 所：福井県国際交流会館 多目的ホール
テーマ：『やりがい人材の育成が会社を作る』
参加者数：77名

内 容：基調講演「ドラフトのシンプルすぎる人事評価制度を紹介します」

〈講師〉 株式会社ドラフト 代表取締役 伊藤 佑樹 氏
事例発表：「人を育てる」

〈発表者〉 安田蒲鉾株式会社 代表取締役 安田 泰三 氏

パネルディスカッション

株式会社ドラフト 代表取締役 伊藤 佑樹 氏

安田蒲鉾株式会社 代表取締役 安田 泰三 氏

株式会社G A I A 取締役社長 石内 ももよ 氏

北出経営労務事務所 シナジー経営株式会社 代表取締役 北出 慎吾 氏

エ 監督者訓練（TWI）の実施

(ア) 県内

実施企業	訓練科	実施日	修了者数
(株)金津技研	第1科 仕事の教え方	4月2日(土)、9日(土)	10名
(株)アタゴ	第1科 仕事の教え方 第2科 改善の仕方	9月16日(金)、24日(土)、 30日(金)、10月7日(金)、 14日(金) 11月5日(土)、11日(金)、 18日(金)、26日(土)、 12月2日(金)	18名
社会福祉法人おおた福祉会 特別養護老人ホーム ホームタウンコスモス	第2科 改善の仕方	11月30日(水)、 12月1日(木)	10名

(イ) 県外

実施企業	訓練科	実施日	修了者数
西陵(株) (富山県)	第2科 改善の仕方	9月3日(土)、17日(土)	10名
丸井織物(株) (石川県)	第1科 仕事の教え方	3月6日(月)、14日(火) 3月7日(火)、16日(木)	14名
東レ(株) 石川工場 (石川県)	第3科 人の扱い方	3月22日(水)、23日(木)	5名

(2) 技能検定事業

ア 前期・後期

期別	級別	申請者	合格者	合格率(%)	職種
前期	1級	234	98	41.9	29職種
	単一等級	18	5	27.8	
	2級	224	98	43.8	
	3級	92	53	57.6	
	計	568	254	44.7	
後期	特級	18	4	22.2	30職種
	1級	163	64	39.3	
	単一等級	18	8	44.4	
	2級	149	53	35.6	
	3級	155	88	56.8	
	計	503	217	43.1	
合計		1,071	471	44.0	51職種
前年度比		6.4%減	21.6%減	8.5ポイント減	

イ 随時

級 別	申請者	合格者	合格率(%)	職 種
随時3級	49	4	8.2	28職種
基礎1級	7	5	71.4	
基礎2級	793	792	99.9	
合計	849	801	94.3	
前年度比	6.4%増	5.0%増	1.3ポイント減	

ウ 第54回技能五輪全国大会への参加

開催日：平成28年10月21日（金）～24日（月）

場 所：山形県山形市他

参加者：日本料理3名（うち2名、敢闘賞受賞）、旋盤1名、左官1名

エ 第29回技能グランプリ全国大会への参加

開催日：平成29年2月10日（金）～13日（月）

場 所：静岡県静岡市他

参加者：旋盤1名（敢闘賞受賞）、壁装2名、日本料理2名（うち1名銀賞受賞）

オ 技能検定フォローアップ講習の実施

開催日：平成28年12月1日（木）

場 所：福井市研修センター

職 種：建築大工

修了者：10名

(3) 自主事業

ア 研修事業

(ア) 新入社員研修

開催日：平成28年4月4日(月)、5日(火)

場 所：福井市地域交流プラザ 研修室605 修了者：14名

(イ) 中堅リーダー研修

開催日：平成28年6月7日(火)、8日(水)

場 所：福井県生活学習館 ユー・アイふくい 修了者：13名

(ウ) 管理職研修

開催日：平成28年9月6日(火)、7日(水)

場 所：福井県織協ビル 会議室805号室 修了者：6名

イ コンピュータサービス技能評価試験の実施

(ア) 一般募集試験

実施日：前期・・・平成28年 6月25日(土)

後期・・・平成28年12月10日(土)、11日(日)

場 所：ポリテクセンター福井 他1会場

申請者：24名(前年度比11.2%減) 合格者：9名(前年度比35.7%減)

(イ) 認定施設試験（随時実施）

福井産業技術専門学院その他14認定・登録施設において、随時に実施した。

申請者：678名(前年度比10.7%減) 合格者：624名(前年度比12.2%減)

ウ CADトレース技能審査（厚生労働省認定）の実施

実施日：前期・・・平成28年9月10日(土)

後期・・・平成29年2月12日(日)

申請者：52名(前年度比28.7%減) 合格者：30名(前年度比11.8%減)

エ 技能検定学科試験予備講習会開催に対する助成

受検者を対象に学科試験の講習会を開催した団体に対して、助成金を交付した。

- ・福井県板金工業組合、福井県プラスチック工業会 他2件

オ ビジネス・キャリア検定試験の実施

実施日：前期・・・平成28年10月 2日（日）

後期・・・平成29年 2月19日（日）

場 所：福井大学 文京キャンパス 総合研究棟 I 総大1 講義室

申請者：118名（前年度比3.5%増）

合格者：57名（前年度比18.8%減）

(4) 厚生労働省からの受託事業

ア キャリア支援企業創出促進事業

(ア) 相談・指導、情報提供業務

企業訪問等相談件数	コンサルタント+アドバイザー	378社
	サポーター	117社
	キャリア診断	1社
事業内職業能力開発計画作成の支援		107社
JAVADAメルマガ読者数		206人
メルマガきやりあ道読者数		66人
職業能力開発推進者選任数(事業所数)		2,106社 (前年度比135社増)

(イ) 職業能力開発推進者講習の実施

開催日	場 所	内 容	参加者数
平成28年 9月28日(水) 29日(木)	福井産業技術 専門学校	「導入レベルのキャリア・コンサルティング講習」 関西カウンセリングセンター専任講師 濱岸末雄氏 ・従業員の自己理解を促進し、やる気を引き出すための基本的な考え方やスキルを学ぶ ・キャリア形成支援ツール「CADS&CAD I」を活用する	11名
平成28年 12月7日(水) 8日(木)	福井産業技術 専門学校	「目標管理と人事考課セミナー」 関西カウンセリングセンター専任講師 濱岸末雄氏 ・「業績と能力の見える化」を通じて「学習する組織づくり」を目指す ・能力開発支援ツール「職業能力評価基準」を活用する	48名

イ 若年技能者人材育成支援等事業

(ア) 地域における技能振興

①技能五輪全国大会の予選の実施等

- ・技能五輪全国大会福井県予選の実施

若年者の全国技能競技大会である技能五輪全国大会福井県予選を実施することにより、福井県内の技能レベルの向上と技能尊重気運の醸成を図った。日本料理部門で3名の全国大会出場者を決定した。

開催日・場所	5月18日(水) 啓新高等学校
職種・参加者数	日本料理 10名

- ・技能五輪全国大会および若年者ものづくり競技大会への参加支援の実施

大会に出場する選手と指導者の旅費を支援し、選手が参加しやすい環境を整備した。

技能五輪全国大会では、日本料理部門の2名が敢闘賞を受賞し2年連続の敢闘賞受賞となった。左官部門では、本県から初めて1名が出場した。

なお、若年者ものづくり競技大会への参加はなかった。

技能五輪全国大会 開催日・場所 派遣人数	10月21日(金)～24日(月) 山形県山形市他 選手4名(日本料理3名、左官1名) 指導者4名(日本料理3名、左官1名)
----------------------------	---

②ものづくりの魅力、技能者の技能を伝えるための取組等

- ・技能に関するイベント「福井 技の祭典」の開催

県民に技能を公開し、ものづくりを支える技能の振興と技能尊重気運の醸成を図り、新たに職人を目指す若者を増加させるため、県や業界団体の協力を得て「福井 技の祭典」を開催した。イベントでは、若手職人による技能・製作実演大会と来場者による出来栄の審査、熟練技能者による製作実演ならびにもものづくり体験教室を実施した。

開催日・場所	11月19日(土)～20日(日) 福井県産業会館	
技能・製作実演大会	職種	8職種(管工事、造園、建築大工、建築板金、左官、和菓子、壁装仕上げ、日本料理)
	参加選手・満足度	若手職人61名 団体：100%、参加者：100%
熟練技能者による製作実演	職種	4職種(和菓子、鍛金、着物仕立て、フルーツカービング)
ものづくり体験教室	職種	11職種(ニッ屏風、和菓子、ちりめん細工の福ふくろう、フットルーム、電気のお仕事体験、勾玉づくり、光ファイバーアート、丸太切り、銅板折鶴・かぶと、巻き寿司、どろだんご)
	参加者数・満足度	497名 99%

- ・小中学生(親子)ものづくり体験教室の開催

小中学生(親子)を中心に、熟練技能者の指導によるものづくり体験を通して、ものづくりの楽しさや素晴らしさを実感してもらった。

場所	グリーンセンター(坂井市)	桜木図書館(福井市)	あっとほうむ(敦賀市)	結とぴあ(大野市)
開催日	6月5日(日)	7月3日(日)、9月11日(日)	9月17日(土)、19日(月)、10月8日(土)～10日(月)	11月12日(土)、13日(日)
職種	1職種(建築大工)	2職種(左官、日本料理)	5職種(左官、建築板金、和裁、和菓子、日本料理)	3職種(左官、建築大工、和裁)
参加者数	25名	78名	413名	268名(計784名)
満足度	100%	97%	99%	99%(計99%)

・熟練技能者の派遣による実技指導

熟練技能者を高校および業界団体に派遣し、技能向上や技能検定対応等ニーズにあった実技指導を行った。

派遣先	計 21 件 364 人日
企業・団体	3 件 27 人日
高校	18 件 337 人日 (*人日=受講者数×派遣日数)
職種	全 3 職種
企業・団体	1 職種 日本料理
高校	3 職種 日本料理、フラワー装飾、溶接
満足度	企業・団体、高校：100% 受講者：99%

・卓越した技能者の表彰(現代の名工)展の開催

技能の重要性・必要性への理解の促進、高度な技能を持つ者の活用促進ならびに技能伝承の促進を図るため、中央職業能力開発協会ならびに東海・北陸ブロック各県職業能力開発協会の主催による「2016 現代の名工展 in 名古屋」を開催した。

開催日・場所	9 月 24 日(土) イオンモールナゴヤドーム前 (愛知県名古屋市)
出展者	松田 眞扶 氏 (蒔絵師) 高村 利幸 氏 (刃物製造工)
内容	ブロック内 7 県から総勢 15 名(14 職種)の「現代の名工」が参集 ①作品展示と名工による作品の解説 ②本人の紹介と技能を解説したパネルの展示 ③丘みつ子氏(広報大使)と名工のトークショー

(イ) ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務

①ものづくりマイスターの開拓

派遣依頼はあるがものづくりマイスターがいない、または、少ない職種を中心に要件を満たす者を掘り起こして登録申請を勧めた。

ものづくりマイスターの認定登録者数	12 名 【新規】 婦人子供服製造 1 名、農業機械整備 1 名、広告美術仕上げ 3 名 【増員】 造園 1 名、建築板金 1 名、建築大工 2 名、表装 1 名、和裁 2 名
-------------------	--

(ウ) ものづくりマイスターの活用

①ものづくりマイスターの派遣による実技指導の実施

ものづくりマイスターを企業・団体や高校等に派遣し、技能向上や技能検定受検への対応等、ニーズにあった実技指導を行った。

派遣先	計 78 件 1,248 人日
企業・団体	13 件 156 人日 (新規企業 1 社含む)
高校	65 件 1,092 人日 (新規高校 1 校含む)
職種	全 14 職種
企業・団体	6 職種 左官、菓子製造、表装、建築大工、造園、建築板金
高校	11 職種 左官、菓子製造、建築大工、機械加工、鉄工、機械検査、和裁、機械保全、型枠施工、鉄筋施工、電気機器組立て
ものづくりマイスターの活動数	2,240 人日 ((ウ)-③含む)
満足度	企業・団体、高校：100%、受講者：98%

②「目指せマイスター」プロジェクト

- ・「ものづくりの魅力」の発信

マイスターを小・中学校、普通科高校等に派遣し、教師や生徒を対象とした講義やものづくりの実演および体験教室を行なった。

学校の授業等への派遣 小学校 中学校 普通科高校	計 11校 5校 (新規3校含む) 4校 (新規2校含む) 2校 (新規1校含む)
職 種 小学校 中学校 普通科高校	全 4職種 1職種 菓子製造 2職種 建築大工、菓子製造 2職種 和裁、表装
ものづくりマイスター の活動数	計 992人日(㊦)-②の内数) 児童・生徒対象 916人日 教師対象 76人日
満足度	学校：100%、教師対象：100%、児童・生徒対象：99%

(エ) 地方公共団体、経済団体等との連携会議の設置・運営

本事業の推進計画の策定、当県の産業特性や就業構造を踏まえた技能振興の取組みや事業実施に当たっての連携・協力のあり方検討ならびに事業の進捗管理を実施した。

開催日	5月30日(月)、12月14日(水) 計2回
構成	福井労働局、福井県労働政策課、福井県高校教育課、福井県中小企業団体中央会、福井県技能士会連合会等 委員構成 9名
内容	1回目 … 実施計画の説明、事業実施に当たっての各機関・団体との連携、協力、意見交換等 2回目 … 当該年度の事業進捗状況の報告、翌年度の推進計画(案)の報告・とりまとめ等

4 表彰

区 分	表彰の種類	表 彰 者
認定職業訓練関係	厚生労働大臣	功労者 1名
	知 事	功労者 1名
	中央職業能力開発協会会長	功労者 1名
	福井県職業能力開発協会会長	団 体 1団体 功労者 2名
技能検定関係	厚生労働大臣	功労者 1名
	知 事	団 体 1団体 功労者 1名
	福井県職業能力開発協会会長	功労者 5名 10年勤続技能検定委員 5名 5年勤続技能検定委員 8名

平成28年度 収支決算

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額 (3月補正)	決算額	差異	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 会費収入	1,668,000	1,668,200	△ 200	団体会員 62団体 会社会員 58会社
(2) 事業収入	39,123,000	39,096,894	26,106	
① 職業訓練収入	1,369,000	1,369,874	△ 874	
職業訓練指導員講習受講料	122,000	122,000	0	10名
監督者訓練受講料	300,000	300,000	0	4コース
監督者訓練講師派遣料	267,000	267,874	△ 874	県内4コース、県外4コース
研修受講料	680,000	680,000	0	33名
② 技能検定収入	35,737,000	35,726,300	10,700	
技能検定受検料	18,456,000	18,456,300	△ 300	学科843名 実技968名
基礎級受検料	17,281,000	17,270,000	11,000	学科825名 実技867名
③ 技能五輪手数料	53,000	53,700	△ 700	予選参加選手3名
④ 技能検定実技試験受託収入	196,000	196,900	△ 900	
機械保全職種受託料	0	0	0	
他県からの受検者受託料	196,000	196,900	△ 900	11名
⑤ 技能評価試験手数料	1,246,000	1,226,970	19,030	
試験手数料	108,000	108,270	△ 270	コンピュータサービス技能評価試験 一般募集試験 24名
事務手数料	1,138,000	1,118,700	19,300	認定・登録施設試験 678名
⑥ 技能審査手数料	225,000	225,550	△ 550	CADトレース技能審査 52名
⑦ ビジネス・キャリア検定試験手数料	297,000	297,600	△ 600	118名
(3) 補助金収入	29,000,000	29,000,000	0	管理費補助金 22,514,000円 事業費補助金 6,486,000円
(4) 雑収入	465,000	471,007	△ 6,007	委託事業からの受入等
事業活動収入計	70,256,000	70,236,101	19,899	
2 事業活動支出				
(1) 管理費支出	44,268,000	43,699,905	568,095	
① 管理諸費	3,847,000	3,621,123	225,877	賃借料、委託費、修繕費、燃料費、
管理諸費	3,847,000	3,621,123	225,877	保険料、租税公課等

(単位：円)

科 目	予算額 (3月補正)	決算額	差異	備 考
②人件費	38,736,000	38,394,533	341,467	
給料	22,434,000	22,419,225	14,775	職員5名、嘱託1名、事務員1名
諸手当	10,882,000	10,880,844	1,156	期末勤勉手当、通勤手当等
法定福利費	5,420,000	5,094,464	325,536	社会保険料
③積立金	1,685,000	1,684,249	751	
中退金掛金	600,000	600,000	0	職員4名分
退職手当積立金	1,085,000	1,084,249	751	
(2)事業費支出	25,567,000	25,490,432	76,568	
①職業訓練振興費	1,846,000	1,817,407	28,593	
事務費	647,000	622,160	24,840	印刷製本費、通信運搬費等
認定職業訓練指導員研修費	9,000	8,120	880	報償費、会議費
48時間講習会開催費	62,000	61,035	965	教材費、報償費、旅費
監督者訓練実施費	93,000	91,710	1,290	印刷製本費、教材費、旅費等
研修事業実施費	727,000	726,951	49	報償費、旅費、通信運搬費等
経験交流プラザ開催費	308,000	307,431	569	報償費、通信運搬費、旅費等
②技能検定試験等実施費	23,144,000	23,134,669	9,331	
事務費	2,120,000	2,117,038	2,962	印刷製本費、通信運搬費等
学科試験実施費	1,986,000	1,980,582	5,418	試験問題代、賃借料
実技試験実施費	18,268,000	18,267,549	451	材料費、報償費、試験問題代等
技能五輪選手等派遣費	770,000	769,500	500	旅費、消耗品費等
③技能評価試験実施費	480,000	444,887	35,113	試験問題代、通信運搬費等
④技能審査実施費	57,000	53,469	3,531	賃借料、通信運搬費等
⑤助成金	40,000	40,000	0	学科試験予備講習会開催助成金
事業活動支出計	69,835,000	69,190,337	644,663	
事業活動収支差額	421,000	1,045,764	△ 624,764	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	421,000	1,045,764	△ 624,764	
前期繰越収支差額	1,854,000	1,854,047	△ 47	
次期繰越収支差額	2,275,000	2,899,811	△ 624,811	

[退職手当積立金]

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収入の部				
1 前年度繰越金	3,682,000	3,682,478	△ 478	
2 積立金	874,000	1,084,249	△ 210,249	
3 預金利子	1,000	1,804	△ 804	
収入計	4,557,000	4,768,531	△ 211,531	
支出の部				
1 退職手当支出	0	0	0	
当期収支差額	4,557,000	4,768,531	△ 211,531	翌年度繰越

[運営調整基金]

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
収入の部				
1 前年度繰越金	14,811,000	14,811,157	△ 157	
2 積立金	0	0	0	
3 預金利子	8,000	8,867	△ 867	
収入計	14,819,000	14,820,024	△ 1,024	
支出の部				
1 操出金	0	0	0	
支出計	0	0	0	
当期収支差額	14,819,000	14,820,024	△ 1,024	翌年度繰越

厚生労働省事業受託費特別会計

[キャリア支援企業創出促進事業]

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
1 受託費	8,490,000	8,490,960	△ 960	
収入計	8,490,000	8,490,960	△ 960	
支出の部				
1 人件費	3,466,000	3,465,724	276	アドバイザー俸給、保険料
2 管理費	1,896,000	2,212,767	△ 316,767	事務員賃金、事務所借上料等
3 謝金	2,190,000	2,013,120	176,880	コンサルタント・講師等の謝金
4 旅費	575,000	376,561	198,439	コンサルタント・講師等の旅費
5 庁費	363,000	378,094	△ 15,094	通信運搬費、印刷製本費等
支出計	8,490,000	8,446,266	43,734	
当期収支差額	0	44,694	△ 44,694	厚生労働省へ返還

[若年技能者人材育成支援等事業]

収支計算書

平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
収入の部				
1 受託費	36,619,000	36,619,560	△ 560	
収入計	36,619,000	36,619,560	△ 560	
支出の部				
1 地域における技能振興	9,737,000	7,835,341	1,901,659	
(1) 技能五輪全国大会の予選の実施等	856,000	915,614	△ 59,614	選手等派遣旅費、材料費等
(2) ものづくりの魅力、技能者の持つ技能を伝えるための取組等	8,881,000	6,919,727	1,961,273	技能選手権、技能向上・技能継承講習会等
2 ものづくりマイスターの認定、登録に関する業務	286,000	70,689	215,311	講師謝金・旅費、通信運搬費等
3 ものづくりマイスターの活用に係る業務	15,040,000	9,733,639	5,306,361	マイスター謝金・旅費、材料費 広告料、通信運搬費等
4 連携会議の開催	66,000	37,184	28,816	委員謝金、旅費、会議費等
5 全国斉一的な事業展開	389,000	376,334	12,666	職員旅費
6 管理費	11,101,000	10,211,651	889,349	人件費、賃借料、消耗品費等
支出計	36,619,000	28,264,838	8,354,162	
当期収支差額	0	8,354,722	△ 8,354,722	厚生労働省へ返還

貸借対照表

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	30,000	30,000	0
普通預金	15,041,157	26,565,409	△ 11,524,252
定期預金 運営調整基金	14,820,024	14,811,157	8,867
未収金	593,940	1,007,917	△ 413,977
前払金	9,828	36,008	△ 26,180
流動資産合計	30,494,949	42,450,491	△ 11,955,542
2 固定資産			
(1) 特定資産			
退職手当積立金	4,768,531	3,682,478	1,086,053
特定資産合計	4,768,531	3,682,478	1,086,053
(2) その他固定資産			
建物	2,077,196	2,271,693	△ 194,497
車両運搬具	3	48,915	△ 48,912
什器備品	725,309	974,673	△ 249,364
ソフトウェア	150,804	248,196	△ 97,392
その他固定資産合計	2,953,312	3,543,477	△ 590,165
固定資産合計	7,721,843	7,225,955	495,888
資産合計	38,216,792	49,676,446	△ 11,459,654
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,587,382	4,919,047	△ 2,331,665
預り金	8,643,852	19,367,442	△ 10,723,590
前受金	1,543,880	1,498,798	45,082
流動負債合計	12,775,114	25,785,287	△ 13,010,173
2 固定負債			
退職手当積立金	4,768,531	3,682,478	1,086,053
固定負債合計	4,768,531	3,682,478	1,086,053
負債合計	17,543,645	29,467,765	△ 11,924,120
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	..	0	#VALUE!
2 一般正味財産			
一般正味財産	20,673,147	20,208,681	464,466
正味財産合計	20,673,147	20,208,681	464,466
負債および正味財産合計	38,216,792	49,676,446	△ 11,459,654

財産目録

平成29年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	30,000		
普通預金			
福泉信用組合本店 No.0013994	5,235,773		
" No.0240532	720,453		
" No.0282902	9,018,831		
福井銀行県庁支店 No.0001064	66,100		
定期預金			
運営調整基金			
福泉信用組合本店 No.0121332	11,819,424		
福井銀行県庁支店 No.5005527	3,000,600		
未収金			
試験手数料等	593,940		
前払金			
ドメイン管理料	9,828		
流動資産合計		30,494,949	
2 固定資産			
(1) 特定資産			
定期預金			
退職手当積立金			
福泉信用組合本店 No.0053616	4,768,531		
特定資産合計	4,768,531		
(2) その他固定資産			
建物	2,077,196		
車両運搬具	3		
什器備品	725,309		
ソフトウェア	150,804		
その他固定資産合計	2,953,312		
固定資産合計		7,721,843	
資産合計			38,216,792
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金			
社会保険料他	2,587,382		
預り金			
受託事業返還金 (平成27年度分)	244,436		
受託事業返還金 (平成28年度分)	8,399,416		
前受金			
受検手数料	1,543,880		
流動負債合計		12,775,114	
2 固定負債			
退職手当積立金	4,768,531		
固定負債合計	4,768,531		
負債合計			17,543,645
正味財産			20,673,147

財務諸表に対する注記

1 重要な会計区分

- (1) 固定資産の減価償却方法
定額法を採用しています。
- (2) 退職手当積立金の計上基準
職員の退職給付に備えるため、当期末退職の要支給額に相当する金額から中小企業退職金共済給付額を控除した金額を計上しています。
- (3) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっています。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	6,356,130	4,278,934	2,077,196
車両	3,577,420	3,577,417	3
什器備品	9,179,931	8,454,622	725,309
ソフトウェア	486,960	336,156	150,804
合 計	19,600,441	16,647,129	2,953,312

3 資金の範囲

資金の範囲には、現金・普通預金・未収金・前払金・未払金・預り金・前受金を含めています。